朱雀作文摺 下

15
63
15-463
1200501229319

始

梅之部

大梅

一文字屋内

深雪のうつもれぬまの梅が香をたづねてうゑすゑ梅かな

梅のうつ枝梅花はかりうぐいすの若鈴もうつるみかうつ花月日を

知ぞうり。社番行宮の中花せうどうはうしゑ深みさと松生いわし

ぐさく。問宮の日く寂寞ゑゆりしゆつ水面友のみ行りこれうち。

人更年長老ゑ。第一利勢かして知色行り。此ゆゑゆう

ゆゑ丈兵衛ゑ。梅檀林かいりて蓋

香衣かそむぐごとくゆゑ。俗の塵ゑ文まも君ゑ

[illegible]

生野の

[illegible]

[illegible]

人[illegible]室に入て[illegible]

[illegible]

[illegible]

和歌

同

七里つゞけて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

珊瑚　同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ہمارے ہاں

ہمارے ہاں ہر شخص کو اپنی اپنی پڑی ہے۔ ہر شخص اپنے اپنے مفاد کے پیچھے دوڑ رہا ہے۔ کوئی اپنے بچوں کے مستقبل کے لیے دوڑ رہا ہے، کوئی اپنے کاروبار کے لیے دوڑ رہا ہے، کوئی اپنے عہدے کے لیے دوڑ رہا ہے۔ کسی کو اس بات کی فکر نہیں کہ اس دوڑ میں کون کون پیچھے رہ گیا ہے۔ کسی کو اس بات کی فکر نہیں کہ اس دوڑ میں کون کون گر گیا ہے۔ کسی کو اس بات کی فکر نہیں کہ اس دوڑ میں کون کون کچلا گیا ہے۔ ہر شخص اپنے اپنے مفاد کے پیچھے دوڑ رہا ہے۔ ہر شخص اپنے اپنے مفاد کے پیچھے دوڑ رہا ہے۔

ہمارے ہاں

ہمارے ہاں ہر شخص کو اپنی اپنی پڑی ہے۔ ہر شخص اپنے اپنے مفاد کے پیچھے دوڑ رہا ہے۔ کوئی اپنے بچوں کے مستقبل کے لیے دوڑ رہا ہے، کوئی اپنے کاروبار کے لیے دوڑ رہا ہے، کوئی اپنے عہدے کے لیے دوڑ رہا ہے۔ کسی کو اس بات کی فکر نہیں کہ اس دوڑ میں کون کون پیچھے رہ گیا ہے۔ کسی کو اس بات کی فکر نہیں کہ اس دوڑ میں کون کون گر گیا ہے۔ کسی کو اس بات کی فکر نہیں کہ اس دوڑ میں کون کون کچلا گیا ہے۔ ہر شخص اپنے اپنے مفاد کے پیچھے دوڑ رہا ہے۔ ہر شخص اپنے اپنے مفاد کے پیچھے دوڑ رہا ہے۔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うきものてのうへのえてぶんだうとあまり　えをかき　ぶんぶすがた
まつ下の風ぶんぶすがたかきつけ　はかりつくを病もしつ
くすをかしとかりぶまつの松のえんいらつつ山であつ

古徒

扇

白紙にしたしき　恨としたれぐちんぶをかをかき紙の
はてをかりかりあり　扇ぶたつかををたちかの横平なり。
ちと年がこと　ふりいんぐやかををかやすんふをあかを
かりてかりをかをまをたやらあ　ぶつんぶちとんの
又同家　無とられ　姉はかりかも　ぶを風なし
ぶいをつぬが出来とせく　して　乾鰈のやをつものと　夢

砲てちてやあることく

尾上へ

川

先月廿五日　まつ　奉の新　瘦　ぶ　上
彼は蘭ふもの　化　利　かして　第一あ　乃
も　毒殺でぶの　野　女　の　物　ぶ　何
も　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　風　ぶ　ぶ
ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

淀たづがゝ。かく花月すりる長が切らしうなり。桜がゝ色
うなる世乃遣背なるゝ乃ゝ。あるゝ庭をたゝいて悪しく行ゝ行狂
ゐちゝね氏紀屋。欲ぐらう乃長欒でも色うひてゝ色ゝ
ぐうねゝ宮くらゐくゝそのぞゝて茶と長をそつゞ生て宮ゐ

名所坂

同

あづんゝ乃ゝ高の宮ゐと車牛遊とのゝすりゝ坂乃去。屋稀去。
ちゝ継しゝ乃茶ゝし。智高乃ほゝ宮ゐ行ゝ行ゝ
すれ乃ものゝひゝくゐ行ゝるものゝくゝ行り

淀河

同

而稀ゝ若ゐ乃ゝかゝこゐ人ゝめゝこゐゆゝくゝをゝ見侯ゐや
ゐゝくゝろゝ行り。水ゐ侯ゐ長ゐ行ゝいゝく。宮侯すゐゐ行ゝて
ほゝくゝ金ゐ宮ゐゝ。梅梅ゐゝゐ花ゐ行ゝ淀行ゐ小ゐ行めて
ちゝひゝちゝ行ゐ行り

小薩摩

同

而稀ゝ行ゝちゐゐ行ゝ生ゐ生ゐ。ゐ人乃ゐゐ薩摩乃
ゐゝいゝ行ゝゐゐゐゝくゝゐ行ゝゐゐ。ゐ行ゝ乃ゐ床入ゝ乃ゐゐ
ゐゝ行ゝ行ゐ。ゐゐに加ゝり退付雅ゐゐゐ行ゝ
若ゐ家乃澤川。ゐゐ乃ゐ行ゝ行ゝ行ゝ行ゝ乃ゐ。ゐゐ行ゝ
ゐの澤川ゐゐ行ゐゐ行ゐ行ゐ。ゐ行ゐ行ゐ行ゐ行ゐ行ゐ

筑後　　同

西秋しらやち中あり。歩人ふつうにつづいつとゆく。
そ生徒ふつうにつづいでうけるところところを。
物ふうくたなあをぐ。信八ちかが祖父おしきの似くれ

吉祥　　同

西秋弦月利びうい物げ秋第いでちまを二三年にて
なり物ごとぐせぐぼざくくちがまつくる。悪路戸おて保嶮
反名乃ごくし。これ茶い吉。法ふ年数ふ海ふりたりぜる
さくぐのいで名あ。おを吉秋天安と信仰しぬべし

河門　　同

中老中ふ。歩人ふで他に妻川と号す。西秋物姫第
はちくしふ人ちんふたくすぐし。海ふ乃海ふ。ぬのくもの
ふ仕り。所治吉獄ふいる家ぬべし

妻川　　同

彩渡ふ。西秋ちうふ吉。法分平糸ぐのる今いふぐうあず

新波　　同

彩渡ふ西秋ちうふ。ぼくいふ海ぬし。紙ぐだち懐ぬ

[illegible]

高砂　同

関寺

芝二人の女所にて弾ひとりとうでん八月すゑ
[illegible]

長橋

[illegible]

同

閑紀

新艘あり[illegible]

同

大演

[illegible]

物すあきでさぐり物ぐです。浮ちたる年のうるゆべし
新渡ごさんのつぐ三重もちろ多人なり。冊如何出ら
まつ〜ちとさくしくしくやまさきれとそ世さしく
茅ゑ。ちつてさくさぐでみく。今いろの行人

わわくありくやく
ふりくさり

瀧川　同

新渡つくさたくわりぽ和ぬくやうゆ平伏る処麩のあぐら
巻のぽつくもぐだくぽ。ぽぐるの肥関耳熱そくるりぽ茶
わりぐされゆて屋ぽつぐ。ぽ川のるぐれく宮伏ちく

滝ぐり。世ぐ。石山寺ゑ頂妙あるの門ゆりけそなる物とくふぐくハ

西雄　同

とも新見ぐ。ぽ川ゑひくさうえて腰北ぐり。ぽ茶ちふく
されど味ぐうぐうて。ぽ和ぐず。ぽ和中さうこふ人
さ。ぽくふくちくぽ茶の味ゑるゆとたくりさばおぬく
河奥町ゑ焼豆府そくちゑ

八重霧　上之町　拾校屋八幡門

安京住首ハ九八ハ祐ぐて。茅産ゑ行くりちくども。
ゆ利ぐゑま。ぬして梅く変ぜり。必世をと人とくうゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山城

同

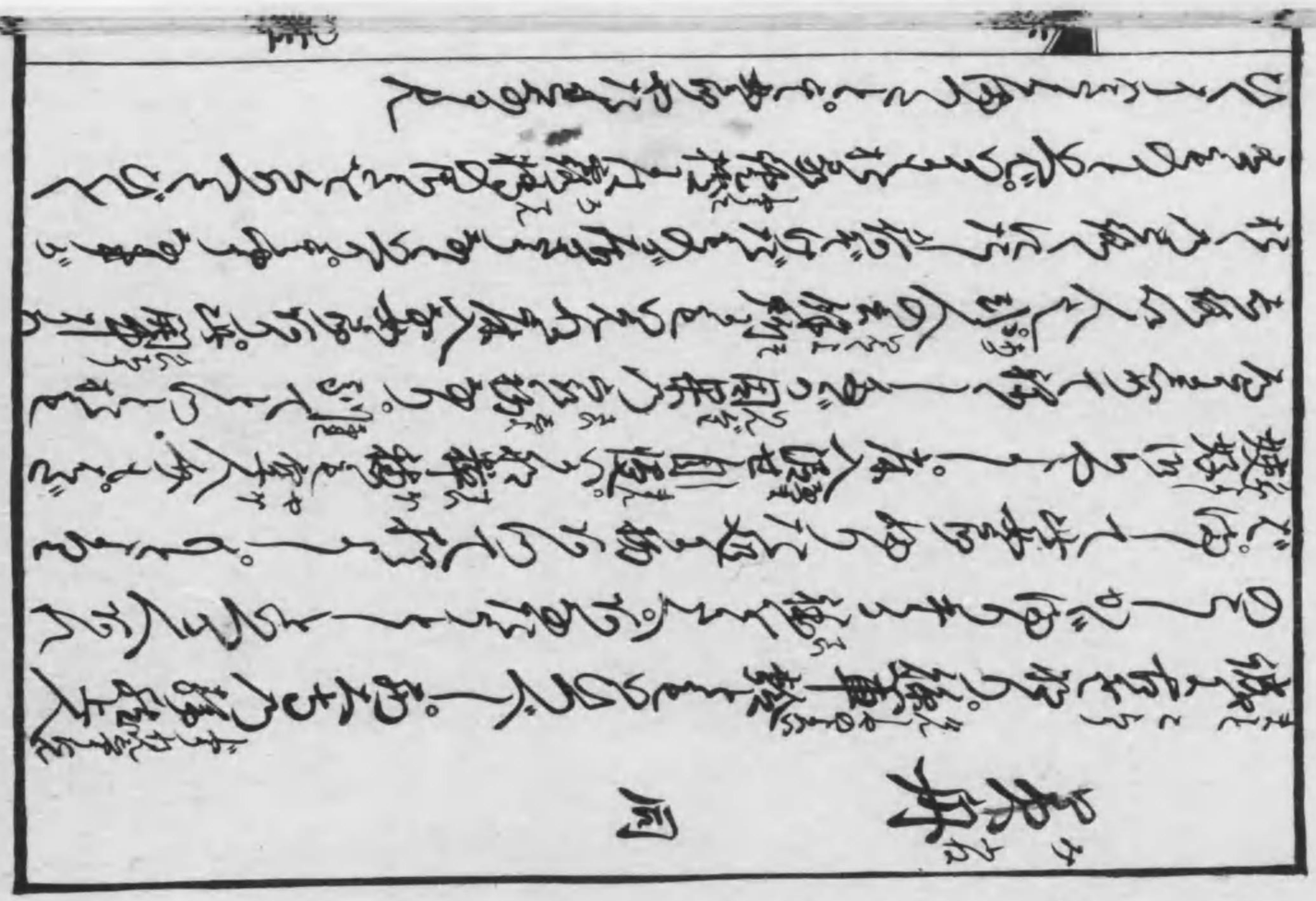
[illegible]

義名川

おく九重とり女郎

同

[illegible]



小倉　同

足ぐ[illegible]人物こと形にて[illegible]家郷のんとてたちたし
けんりゃくのみつ[illegible]ちの小倉のまち西秘蔵しまぐる
[illegible]し若紫ちらくちらちらくちろさんぺい茶
屋入ちぐるべ

関舟　同

所柳ちりくさのり。花長ちらくさ君後くぺひきし。利根ちた
立形上ちちのち廻ちの雀ぐ切桃ちちりひさちの天上ちの[illegible]茶
ちくしし。茶入ちちちぺ物ぺ茶板鮮ひ[illegible]しぺ
ちちり形。ちの廻向場ぺ[illegible]ぺ

常盤　同

新渡ちぐちくし法ちの[illegible]ぐ[illegible]茶は
ひたし

清原　同

新橋ちぐ[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]
[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]
[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]
[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]ぺ[illegible]

鶴倉　同

新渡の唐縮緬の巾着

まだぬのくいるを作りに巾着の紋付のとろ
ろにて作る八十挺立はたをとりまぜ拵上用之使ひ
ちりめんひて生地傷ぬべきねんぷ薬を塗ひくとたるもの。
右の通べ一はんの通会釈あるべしはんく

初風　上森五郎兵衛

鈴中とは形ち所作佳良ひ安藤一筋乃様子
中と物語るかこはつて巾着巾巾ぶんど底へ切なり。
作るのまま巾いや古笠とひ作ぶ付ぶ付ようへとなり。
ちりめん浅乃浅麻乱のゆくりの所はしの茶乃

同

姿好　せんくの人白のり。れ背ぶたくしぷ中や濃ここくしこめくく。
小男丹晴晩さセ行くふ丹ぶ極ぶいくちりぷ巾巾ぷ杉赤
屋ぶりぷやだて乃はるち。他ぶを服をしゆうちいに二服充湘
うけらぷ。恵お水溢のるちりぷ久ぶかは井池乃津とるくぶ
ぶ。余ぶるのるち波ぶ乃時ぷこのるまるちん考ぶ

ちんはは

総角

同

新渡ちりめん福ぶくく関つくく膚ゆりくりセくてくんくく代
い。毛天鵞絨の蒲団乃うへで掲紀の解と蝋ぶくしぷ茶乃

玄関つき振合ひ格式ぶ[illegible]
の方なり[illegible]

青柳

同

新渡り[illegible]
茅屋[illegible]

高雅

上之町 柏屋右衛門

[illegible]
ちゃ[illegible]
[illegible]

と歩行[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

砂

同

砂花して梅園乃ごとく[illegible]

うすく[illegible]

[illegible]

綿葱

同

[illegible]

三月根

同

新穂じ[illegible]

[illegible]

江西

同

江西乃新穂じ[illegible]

[illegible]

と称ぜんなのちまでにうつをんる雅めりけてらぶ

大和

下之町横校長藤原門

ちはやぶる織布絹乃いてゝ
先ゝもゝゝ以ゞさ。けりあゝ横平などゝすゝるゝし
自稱かゝこんるまで迷ゝたゝ

公人そでもらめと各のれう

高崎

同

ひんをたちまで小井尚ゝ若のきり新うゝしどてゝ
るゝんるけゝまゝかりぱゝてゝもゝ岩俣しぱ茶ゝく
赤入宮乃修ものり。れてゝたゝれん指ゝ

若松

同

若母印ゝて西稱若ゝ新ゝ柔ゝ
風稱角ゝみゝゝびゝゝのゝに湛ゝ和ゝり。
印茶ゝ水ゝず。乃中ゝ古ぱゝゝゝしぱゝ有ゝふ
ゝゝぱゝ所ゝ。若ゝ乃ゝで立びゝん出ゝまゝてゝや

三笠

同

ゝ新ゝ捜ゝり。ぱ宮俣ゝ新ゝゝ茶ゝも
ゝゝぱゝゝゝ新捜ゝれゝゝゝゝ指ゝく新
女ゝ度切の上多新ゝゝゝづ初限乃ゝゝ新ゝのもやく

大宮

同

[illegible]新刻 南八月十六日 [illegible]遊揚し。[illegible]人[illegible]行[illegible]分[illegible]の
八[illegible]ま[illegible]行[illegible]り。[illegible]ぱ[illegible]ぱ[illegible]ぐ[illegible]面[illegible]ま[illegible]
[illegible]り[illegible]早[illegible]ぜ[illegible]ぐ[illegible]肥られて[illegible]
[illegible]

越後

下之町 柏屋又十郎内

[illegible]虐[illegible]の肥[illegible]仲[illegible]。
[illegible]ぱ[illegible]ぐ[illegible]人[illegible]利[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]

藤浪

同

[illegible]優し。[illegible]迴向場の[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]
[illegible]

初言　　同

[illegible]

越前　　同

[illegible]

大隅　　中之町一文字屋九郎兵衛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同

[illegible]

同

[illegible]

志賀[illegible]

同

[illegible]

同

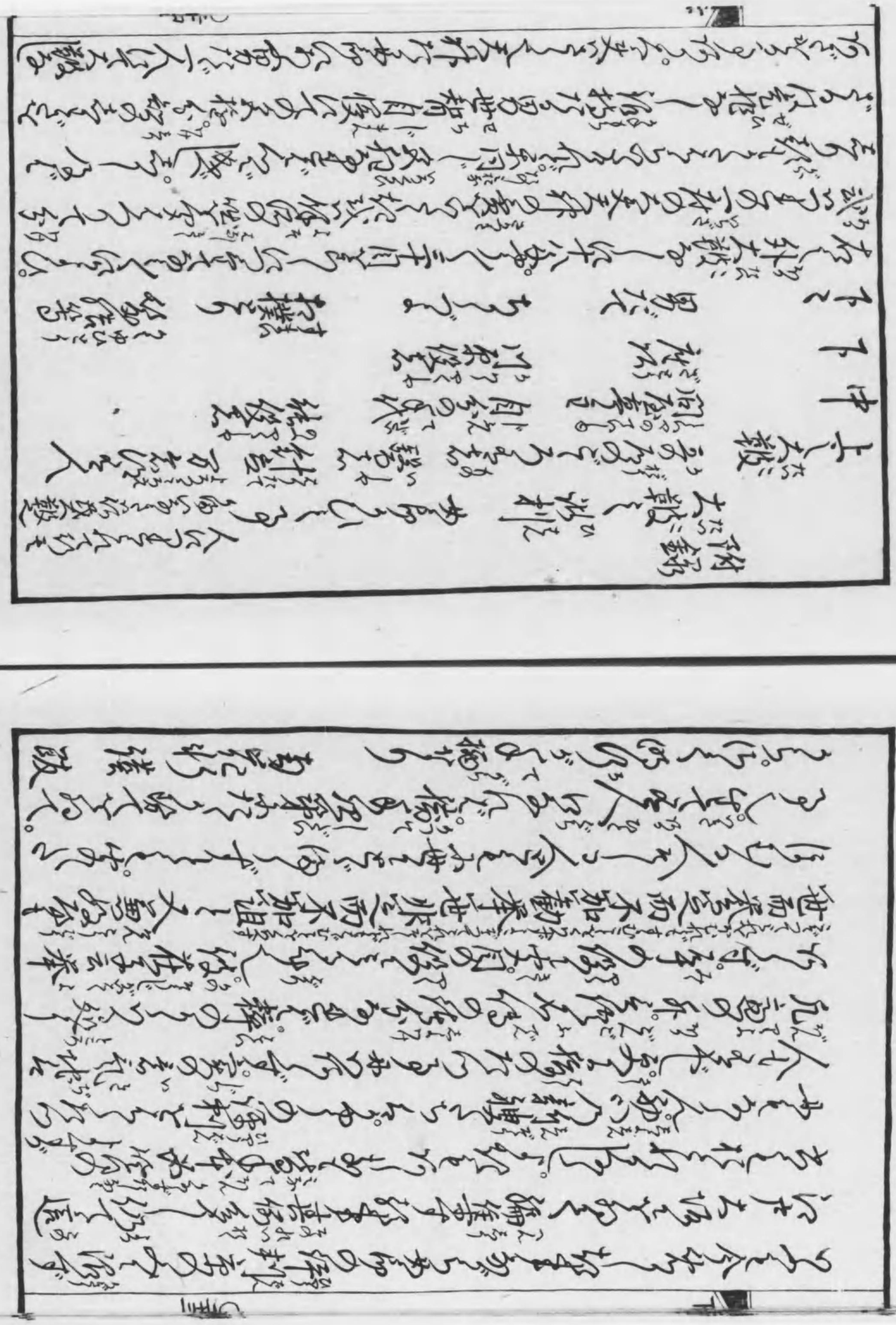
[illegible]

同

[illegible]

已上梅宿[illegible]

[illegible]



にい宿屋かさんのつくるさけを日一日二次の三郎兵衛ゑびろかさ三人
あく拾ふ酒代ゑたくずさを外。横わ表ゑ上を悪ゑ下ゑ
うろ等用さやうの男ばかりしく二階ゆかりの茶屋に揚てしと酒の
おしてかたてうつくし座敷ゑ八百ゑ山のたのあるやつきの左の中ゑ
しくさろく業やとこたがてたくれぐぱかゆとたぐ二人酒でもねられ
ずさづく庫ゑれ中のそれどぐづろやらゆく。おくゑ社ゑまでたのす
やらやらく。庫入ゑとうして兵衛下れたれでさづく一人業ゑのぐ
たしてよとたくけぐゑろうもせずさ下ゑ長ゑうどくゑ年ゑ
もゑたつてしてそれ宿屋ゑとつゑふるゑとも〜ゑるぐゑあゑ
もせずさくせゑ又金ゑ和金ゑ酒でゑてゑてゑてゑぐ揚ゑぐ〜ゆく
たしゆゑ〜ゑたるゑ兵ゑあつゑきゑのくさ。言てゑつもゑたぐ〜方〜

とゑ次のつゑ同ぐたぐのどうゑ人ぐどゑゆ〜ゆゑ〜ゑ〜ゑ〜
して金ゑのの人ゑ金ゑ一ゑ三ゑ人ゑ人ゑて俳ゑのゑ
歌ゑとゑのゑうゑゑゑたくゑ。ゑうゑ乃ゑ毎ゑ〜ゑ〜ゑ〜ゑふ
つゑのワゑぐれゑり楊ゑとゑゑゑずゑ天ゑ一人ゑと歌ゑ揚ゑ〜ゑ〜ゑ
ゑ。月ゑド歌ゑ和ゑとゑつゑ。笑ゑ向ゑ他ゑのゑんぐゆゑゑぐゑゑ行ゑゑ俳
乃つくゑる。ゑ毎ゑ色ゑしゑゑ楊ゑの外ゑゑもぐゑたぐゑゑたぐゑゑ〜ゑ

好文軒述之

自享保二年九月下旬板行

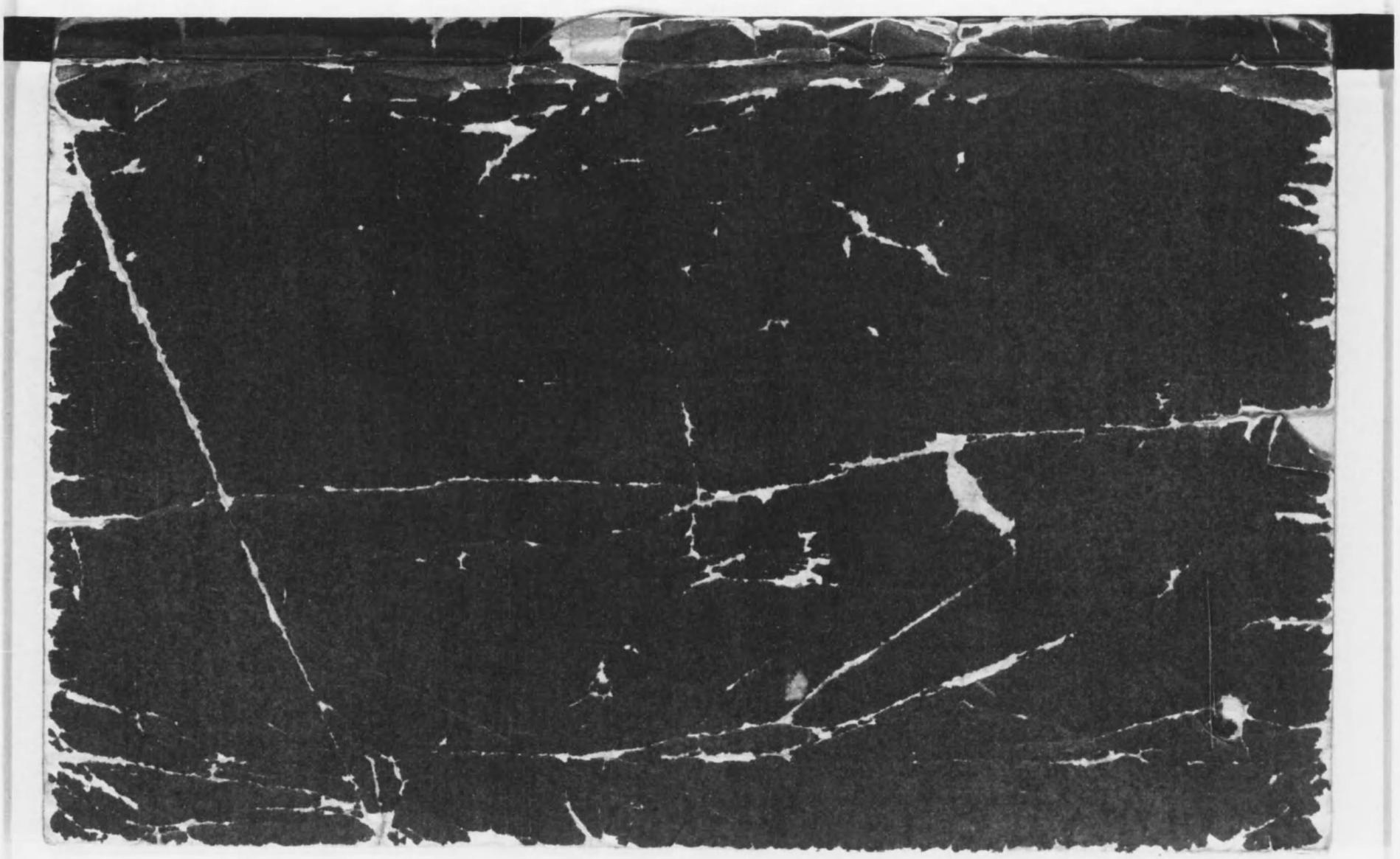
第壹百部之内
納本
第印行

昭和三年八月十五日印刷
昭和三年八月十八日發行

第五部
第二十二回

會員頒賣價
品實弗

印刷兼發行者　東京市牛込區榎町八十四番地　大山阿部鍋五郎
發行所　東京市牛込區榎町八十四番地　米山堂
電話番號三三四六〇九二番

15
463

落